

音楽科学習指導案（本次案） 2 学年

題材名『いるかはざんぶらこ ～三拍子の流れを感じよう～』

1 本時の位置（全3時間中の第2時）

前時：曲に合わせて、大きな声でスムーズに歌う活動をした。

次時：カスタネットとタンブリンでリズム伴奏をする活動をする。

2 本時の主眼

《いるかはざんぶらこ》を歌い曲に親しみを持ち始めた子どもたちが、三拍子に合わせてマス目を跳ぶ場面で、リズムを打ったり体で三拍子の流れを感じたりして試行錯誤することを通して、三拍子の流れを感じながら、マス目を跳んだりリズムを打ったりすることができる。

3 指導上の留意点

・子どもたちが活動している時に歌詞が見えなくて分からないことがないように、教師は子どもがスクリーンを見られるようにする。

4 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	指導・援助と評価	時間
導入	1 《いるかはざんぶらこ》が三拍子であることや前回した活動を確認する。	・床に何か貼ってあるね。楽しそう。 ・今日は《いるかはざんぶらこ》だ。 ・《いるかはざんぶらこ》は、三拍子だ。 ・大きな声で歌えるようにした。 ・できるよ。	○子どもが活動しやすいように、机を後ろに下げるよう指導し、歌詞付きの楽譜をスクリーンに提示する。 ○子どもが前回の授業を思い出せるように「いるかはざんぶらこ」は3拍子であることを確認する。 「三拍子に合わせてマス目を跳ぶことはできるかな？」 ○《いるかはざんぶらこ》を流し、できると言った子どもに、皆の前でマス目を跳んでくれるよう促す。	5
	学習問題：三拍子に合わせてマス目を跳んでみよう。		「どうやったら上手に跳べるかな？」 ○子どもたちがどうしたら上手く跳べるのかに気がつけるよう、上手に跳べる子に注目したり自分で考えたりするよう促す。	10
	2 三拍子に合わせてマス目を跳んでみる。	・以外と難しい。 ・分かりやすいようにリズムを打つ。 ・三拍子の流れを感じて跳ぶ。	○子どもたちが三拍子に合わせて跳べるよう、手や足、タンバリンなどを使いながらリズムを打ち、体で三拍子の流れを感じる活動を行う。1拍目が足で2・3拍目が手、1拍目だけタンバリンで叩く、などの活動を行う。 ○子どもたちが意欲を持ってリズム活動に取り組めるよう、子どもたちからリズムパターンの提案がでたら取り入れる。 ○廊下側とテラス側で分かれ、片方がまずマス目を跳びその際もう片方のグループはリズムを打つよう促す。次に逆も行うよう促す。	10
	学習課題：リズムを打ったり、体で三拍子の流れを感じたりすれば良さそうだ。		三拍子の流れを感じながら、マス目を跳んだりリズムを打ったりしている。 ・表情、行動から	15
	3 手や足、タンバリンなどを使いながらリズムを打ち、体で三拍子の流れを感じる。	・手と足ならリズムを打てるよ。 ・タンバリンでも練習すれば打てる。 ・タンバリンを叩くと他の人と1拍目が合ってるかどうかより分かる。 ・3拍子の流れがつかめてきたよ。	○子どもたちが意欲を持ってリズム活動に取り組めるよう、子どもたちからリズムパターンの提案がでたら取り入れる。	5
まとめ	4 2つのグループに分かれ、マス目を跳ぶ活動とタンバリンなどで歌いながらリズムを打つ活動をする。	・跳ぶのは難しいけど、さっきよりできるようになったよ。 ・リズムに乗って跳ぶのは楽しいな。 ・半分の人がリズムを取ってくれているから分かりやすいな。 ・マス目を跳ぶのも、リズムを叩くのもたのしいよ。	○子どもたちの振り返りを板書し、机を元の状態に戻すよう指導する。	5
	5 本時の追究を振り返り、机を元に戻す。	・三拍子を感じながら跳んだり、リズムを打ったりすることができた。 ・もっとたくさん跳びたかった。		

平成30年8月28日（火） 第3校時

授業会場 2年西組教室

2年西組 男子19名 女子19名 計38名

指導教員

授業者